

# 布水中道徳通信



## 「道徳」＝「自分をよりよくするためのヒントを探す時間」となるように

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。  
道徳教育は、生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成することをねらいとして行われてきました。中学校では令和元年度から道徳の時間は「道徳科」という教科となり、4年目を迎えています。

この「道徳通信」では、学校教育全般における道徳教育の取り組みや道徳の授業の様子などを紹介していきます。紹介する様々な取り組みについてご家庭や地域でも話し合い、心をはぐくむきっかけとなってもらえたら幸いです。

## 年間を通じて考えていく「22個の心」

道徳科の時間は一人ひとりが自分の「心」と向き合う時間であり、毎時間1つの「心」についてクラスの中で話し合い、互いに意見を交流し合う中で、その「心」について考える「ヒント」を得ています。

各学年、年間を通じて考える「心」が22個あります。

### A. 自分自身に関すること

- ① 自主・自律
- ② 節度・節制
- ③ 向上心
- ④ 希望と勇気
- ⑤ 真理の探究

### B. 他の人との関わりに関すること

- ⑥ 思いやり
- ⑦ 礼儀
- ⑧ 友情・信頼
- ⑨ 相互理解

### C. 集団や社会との関わりに関すること

- ⑩ 遵法精神・公德心
- ⑪ 公正・公平
- ⑫ 社会参画
- ⑬ 勤労
- ⑭ 家族愛
- ⑮ 集団生活の充実
- ⑯ 郷土の伝統と文化の尊重
- ⑰ 国を愛する態度
- ⑱ 国際理解・国際貢献

### D. 生命や自然などとの関わり

- ⑲ 生命の尊さ
- ⑳ 自然愛護
- ㉑ 感動・畏敬の念
- ㉒ よりよく生きる喜び



人間にとって必要な「心」を知る、感じる、考える

